

## 参加者感想

### 藍住中学校 3年 aa

私はこの3年間、中学生集会に参加してきた。初めに参加したときは、この場の空気に慣れることに必死だった。しかし、この会に参加し続け、少しずつ発表や発言ができるようになってくると、自分が想像していた交流会とは少し違うことがわかった。不思議なことに、この会にはその場特有の空気がない。他人の意見で染まった会場。けれど、誰かが一人、まったく異なる意見を発表すると、また会場が違う空気に染まるのだ。誰かの色にまた、違う人が色を重ねていく。こうすることで、毎時間、毎時間その場の空気が変わっていく。

私はこの会を通して、今まで私が思っていた常識は、少しの発言で大きく変動するということがわかった。偏見によってなくなる人権問題について、私はこの会で、多種多様に触れてきた。部落差別に始まり、障がい者差別や男女差別、いじめ、終わりの見えない戦争についても。自分一人だけで考える人権問題とはまた違う重要性が、どんな語り合いにも存在すると私は学んだ。これからの人権問題と過去の人権問題、私たちの異なる意見、一見接点がないようで、実は話し合うことで結びつくことはたくさんある。どんな分野においても、話し合いというのは継続していくことに意味があると私は思う。

### 藍住中学校 2年 ae

私はこの会を通して、今までなんとなく授業で聞いていたような話を、とても身近に感じることができました。実行委員会の3回目・4回目も参加しましたが、私はそこで、ずっと遠くに感じていた「いじめ」・「家族からのDV」を、実際に受けている子のお話を聞きました。自分の身の回りにはないと思っていた問題が、徳島県内、それも自分と同じような年齢の子がそれを

受けているのだということにすごく驚き、そして、自分はそんなことを知らずに生きていたのだということに後悔しました。最初は、なんとなく行ってもいいかなぐらいでしたが、今はこのような会をつくってくださった先生方、そして自分の経験を話してくださった生徒のみなさん、OGの方にとっても感謝しています。このような会に参加できて本当に、自分にとって良い経験になったと思います。ぜひ、来年も参加したいと思います。また、私の弟も来年中学生になるのですが、このような機会はなかなかないので、すすめてみたいと思います。

### 板野中学校 1年 ah

この会に参加して、友達もたくさんできたり、少しだけ発表などが慣れたかなと思います。人の前では手を挙げて発表はしていませんが、近くの人と意見を交換し、少しは自分の思いが届いたのではないかなと思います。

本大会では役も当たっていたので、緊張はしましたが、たくさんの意見を聞いて思ったことが心から出てきました。1番心に残ったのは、藍住中学生さんの「訴えることの大切さ」です。文章中にも書いてある通りで、私も人権交流集会に入ったのは、友達をつくりたい、しゃべりたいなど、そんなことで、夕食会などがあるまで行っていました。しかしそんな私が変わったのは、本大会のこの文章でした。私も発表はしたいけれど、声や手が挙がらず、その場で終わってしまったので、次この大会がある日は、絶対に1回は意見を言いたいと思います。宣言し言えなかったのは、自分的にも恥ずかしいし、たくさんの人と意見交換をしたいという気持ちで次は取り組んでいきたいです。「初めてだった」という理由で済ませたくはないので、次こそは絶対に詰まっても、震えても、自分の意見を言っていきたいです。

### 板野中学校 1年 ar

この交流会で私は、たくさんの人権を学ぶこ

とができました。性的マイノリティ、認知症、スピーチをしてくれた人たちの話を聞いて、人権についての考え方が大きく変わり、大切なことが分かりました。今まで私は人権に対して、「誰もが生まれながら平等に人間らしく生きる権利」としか思っていませんでした。ですが、この交流会を通して、人権は助け合い、認め合いをすることで、初めて生まれるものだと考えるようになりました。人権はそう簡単なものではなく、自分と相手とのつながりがあるからこそ成り立っていくものだと分かりました。人権はなくなってはいけけないもので、みんなが平等にもっていないなければならない。このことを学ぶことができたので、とても良い交流会だったと思います。これから先、人権に対しての考え方が世界で変わっていくかもしれないけど、自分の人権を大切にしていきたいです。

#### **板野中学校 1年 ai**

私は今年初めて人権交流集会に参加して学んだことがたくさんありました。この会をしているときにずっと思っていたのは、みんなが発表していてすごいと思ったことです。誰かの考えや意見に対して、自分の思いや考えを堂々と語っていて、かっこいいなと感じました。発表の内容も、自分の立場で考えて、「自分は～」という発表の仕方が私もできるようにしたいです。

また、私が今日学んだ中で、「1番大切にしたい」と感じたことは、離れた場所でも、相談できる友達を1人はつくるということです。私は仲が良い友達はたくさんいますが、正直、本音を言える友達はいないです。でも、すべてではないけれど、少し本音を言えている友達がいるので、その友達を大切にしていきます。

#### **板野中学校 1年 aq**

今日、「人権を語り合う中学生交流集会+'23」に参加して、私は今まで学習してきた人権の考え方やまた違う考え方ができました。今までは、

差別している人はひどいなあと思っていたりしていました。これに参加していたら、なぜ差別をしている人はしてしまったのか、差別やいじめを受けた人にどういう言葉をかけたらいいかなどを考えることができます。私は人権に興味があり、先生に言ったのがきっかけで人権交流会に参加しています。人権交流会で学んだことを日常でも生かし、差別やいじめを受けないように、差別やいじめをしないようにしたいと思います。

人権交流会は、他の学校の人たちの話も聞けるし、自分の悩みも打ち明けられるので、とてもいい会だと思います。人権交流会で学んだこと、話を聞いたことを忘れずに生かしていこうと思います。

#### **板野中学校 3年 aj**

人権を語り合う中学生交流集会+'23に参加して私は2回目ですが、1回目も2回目もそれぞれの良さ、そして参加した皆さんのやさしさにふれることができました。私は部落差別を経験したチェリーさん、はなさんの講演を聞いて、生まれた場所は変えることはできないのに結婚差別をされ、自分が想像する以上につらい思いをしたんだろうなど、胸が少し痛くなりました。私も私の周りの人たちも、部落差別をされた人と相談してくれる人がいないため、身近なことを遠く感じていました。しかし、遠く感じていた私の目の前には、実際に経験したチェリーさん、はなさんがおり、やっぱりそういう差別は身近にあり、つらい、苦しい思いをした人がいる現状は今でもあることに心が痛く、いたたまれない気持ちになりました。部落差別やその他の差別やいじめがなくなることは決して簡単なことではない。だからこそ、人権についての学習が大切になってくるのが改めて分かりました。

#### **板野中学校 3年 ak**

この集会に中学生として参加するのはこれで最後ですが、最後にふさわしいすごくステキな

時間を過ごせた気がします。今回の集会では、ゲストに去年来ることのできなかつたはなちゃん、チェリーさんという方が来てくれました。個人的にチェリーさんの話がかかなり印象的で、恋愛とは何か、結婚とは何か、だれかと惹かれ合い、共に歩いていくことのその意見を改めて考えるきっかけになりました。

中学生の子の発表では、発表者の子たちが自分たちの今までの苦労や気づきをありのままに話してくれました。そのなかでも、「忘れられること」という作文は、私の中には強く記憶に残っています。認知症のおばさんの話だったのですが、そのおばさんが一瞬、私の母の話に重なったのです。もし、私の母も認知症になったら、今までの私なら「施設に入れる」とすぐに言っていたでしょう。しかし、本当に母に私という存在を忘れられてしまったら……。私はきっと耐えられないでしょう。正直、そのときにならないと分からないとは思いますが、少し真剣に母について考えようと思いました。

今回の集会では、たくさんの考えるきっかけをもらった気がします。このきっかけを大切に、今年の集会のことも思い出しながら、これからも人権とは関わり続けていきます。集会に関わるすべての方に感謝しています。

### **板野中学校 3年 am**

僕は中学生交流集会に参加して、自分以外のいろいろな考えを聞くことができました。講演に来ていただいた2人の先生、そして他に参加したたくさんの生徒の考えを聞くことで、凝り固まった自身の価値観や偏見に気づくことで、知見を広げることができました。特に壇上に上がられていた先生たちが言っていた部落差別の話は印象深いです。今まで部落差別はもうほぼない、前時代的なものだと思っていたので、現在でも高齢の方を中心に根強く残っていることに驚きました。部落差別のような昔から習慣として繰り返されている差別は根深く、自分たちだけでなく家族全体に伝えることが、減らして

いくその第一歩になるのかなと思います。そうすることで、差別に苦しむ人を少しでも、せめて自分たちの周りからなくすことができずはずです。僕のような1人の人間にはできることはそう多くないので、できることを精一杯やってみたいです。

### **大麻中学校 1年 男子**

全体会の午前の部でチェリーさんとはなちゃんさんと吉成先生のお話を聞いて、人権についての考えがいろいろ聞くことができ、僕自身、これまであんまり考えたことなかったことがたくさんありました。

午後の部では、意見発表を聞きました。その発表をもとに、討議をしました。僕は緊張して意見や感想を言うことができませんでしたが、同じ中学生の考えを聞けてためになりました。次のときの集会では、1回でも意見が言えるように頑張りたいです。今年初めてこの会に参加しましたが、いい経験になってよかったです。

### **大麻中学校 1年 男子**

「人権を語り合う中学生交流集会+’23」に参加して、自分はこの集会で人権への考えが深まったと思います。いろんな差別があること、どこがいけないのかなど、見過ごしがちなことにしっかり自分の考えをもつことの大切さを考えさせられました。話し合いで出た意見についてしっかり考え、これからの生活で生かしていきたいです。またこの会に参加したいです。

### **大麻中学校 1年 男子**

「人権を語り合う中学生交流集会+’23」に参加して、僕は発表できなかつたけど、人の意見をしっかり聞くことができ、いろいろなことが学べました。最初は不安だったけど、参加してみると他校の人や県外からきている人との交流もあって、参加する前より人権に対する興味や関心がわきました。障がい者差別や性的マイノリティのことなど、いろいろなことを考える

ことができました。この会に参加して人権について考えることの楽しさを教えてもらった気がします。

### 富田中学校3年 ba

人権を語り合う中学生交流集会+2023は、県外の中学生も参加してくれていて、それぞれが自分の学校を紹介し、アピールすることから始まりました。OGの方のお話を聞き、同じ中学生の発表を聞いていると、発信することがとても大切なんだと気づきました。

日本では大勢の意見に流されたり、正しいことを正しいと言えない、言っても聞いてもらえない傾向にあると思います。私自身、自分の意見が言えなくなり、言っても無駄だと諦めてしまっていました。でも交流会では、声を出して発信すれば耳を傾けてくれる人ばかりでした。自分の思いを語ってもいいんだと思えました。この交流会に一人でも多くの人に参加して、自分の思いを伝えられる人、少数派の意見をきちんと聞ける人が増えてくれればと思います。私は交流会に参加できたことで、今後も諦めず、真実を真実と発信していける自分になれると思います。皆さん、ありがとうございます。

### 八万中学校2年 bh

私が今回とても考えさせられたのは、もちろん全部ですが、特に考えさせられたのは、やはり認知症の話でした。私も母とたまに話していたので、今回のがより心に残ったのだと思います。母と話すときは必ず、「老人ホームにぶち込む」ということで話が落ち着いていたんですが、皆さんの意見を聞いていると「あれ？」と思いました。私の母は看護師をしているのでお年寄りの方たちと接している機会が多いから、老人ホームの件も前向きだったのかなと思ったからです。けど、家に帰って深一く、長一く考えてみると、私が老人ホームという結論を出すと、「ハハハハハ」と声をあげて笑うんです。父も行くと言いますが、自分的には父はつらい

のではと思います。でも、認知症の両親を面倒見たいという願望はありませんし、けど家族のことを考えたら、やっぱり私達といたいのかなとか思ったり。幸い私には下に2人の妹がいますから、今度はその2人(そのうちの1人は3歳なのでやっぱり1人)も入れて話してみようかな。

### 八万中学校2年 bi

私は今回の本大会に参加して、よく考え学ぶことができました。全部で4つの意見発表、3人の人たちが堂々と前に立ちみんなの前で自分の意見を発表している姿はとても格好良かったです。意見発表を聞いての意見交換でも、中学生のそれぞれの意見、思っていることがたくさん聞けたし、中学生だけではなく、大人の人たちからの意見・メッセージも聞けたので、学べることが増えてよかったです。

松茂中の bp さんの「忘れられること」という意見発表を聞いて、私のひいおばあちゃん(曾祖母)のことを思い出しました。ひいおばあちゃんは認知症です。神戸に住んでいて、長期休みの時にしか会いに行けません。最後に会ったのは春休みで、その時は私の名前はすぐに出せないけれど、名前を言うと分かってくれました。でも数日前、祖母から、「ひいおばあちゃんにこの前会った時、おじちゃん(祖母の弟)のことを忘れていたから、bi たちのことは覚えていないかもしれない」と言われました。この夏休み中に、神戸へ行き、ひいおばあちゃんに会いに行きます。「忘れられているかも」と思うと、会うのは怖く、不安でした。でも、今回の話を聞いて、忘れられていたとしても、ちゃんと会いに行き、話し、思い出してもらおうと思います。

意見交換の中に読書感想文に「永遠の0」という本を読んだと話している人がいました。その本は私も小6のときに読みました。今回話してくれた人の感想で、こんなによく考えられるのかと思いました。でも、私が読んだのは小6。

今回のような人権学習をしたからこそ、あのときとは違う感想が出てくると思います。なので、もう一度読み直そうと思います。このように、人権学習をしたからこそ前とは違う考えが出てくると思います。なので、これからも人権学習を大切にしようと思います。今回の本大会で、そのように学ばせてもらいました。本当に参加してよかったです。

### 八万中学校 2年 bg

私は今回初めて中学生交流集会に参加して、人権は守っていかなければならないのだと思いました。私が特に心に刺さったのは aa さんの発表の後の意見交換のときに ak さんが話していたことです。ak さんは相手と話すとき、they ではなく you として会話すると言っていました。確かに女性だったら絶対こうである、のような考えが差別につながってしまうのだと思います。人も一人一人がいろいろな考え方だったり、いろいろな容姿だったりするのに、1つの型にあてはめて、こういう人は絶対にこうだというのはおかしいと思いました。だから1つの型にあてはめて考えるのではなく、自由な発想で自分も相手も傷つかないような発言をしたいです。中学生交流集会に参加して、新しい友達や考え方に会えて、とても良かったです。

### 八万中学校 2年 be

今回、本大会に参加するのは初めてでしたが、話を聞くのに集中していたら、思っていたよりも時間が進むのが早く感じました。午前の部の講演会で、チェリーさんとはなちゃんさんから私たち中学生にはまだ分からない仕事や結婚での経験のお話を聞くことができ、良かったです。部落出身というだけで結婚を拒否されるのはおかしいことだと思います。またチェリーさんは家族のお話もされていました。私の家庭環境にも少し通ぶるところがあって、この部分は思わず話に引き込まれました。

午後の部 I では、ar さんの「心の声をきく」

という意見発表を聞いて、共感したところがありました。私も耳で言葉を聞き取るのが苦手で、友達や親と話しているときに何度も聞き返したり、聞き間違いがひどかったりします。でも、耳の問題は自分でどうにかできることではないので、相手に説明をして、知ってもらおうという方法しかないのかな、と今は思っています。

午後の部 II では、aa さんの「訴えることの大切さ」という意見発表が心に残っています。性的マイノリティに関する悩みをもっていただけ、人権交流集会を通して考え方が変わったことを言っていました。私も自分の中だけでずっと抱えていた思いを、この会で初めて打ち明けられました。でも今大会では発表することができなかったので、とても悔しい気持ちでいっぱいです。来年ではしっかり自分の気持ちをみんなに伝えられるようにしたいです。

### 八万中学校 2年 bj

私は今回の中学生交流集会は初めての参加で、とても緊張していましたが、皆さんが優しく接してくださり、リラックスすることができました。次回の中学生交流集会も都合が合えばぜひ参加したいです。

講演会ではチェリーさんやはなちゃんさんの話を聞いて、あんなに遠く、自分には関係のないことだと思っていた同和問題を身近に感じる事ができ、とてもよかったのではないかと個人的に思っています。また、様々な意見の中で私の心に1番響いた発表があります。それは、「忘れられること」に対する aa さんの意見です。その感想で言っていたことが、私の現在の状況にとっても似ていて少しびっくりしました。かなり有意義な時間を過ごせましたが、意見や感想を発表しようとしても何だか怖かったり、あんまりまとまっていなかったりしてできなかったのが唯一の心残りです。最初にも書きましたが、次回参加できるかは不明なので、学校で行われる人権集会で発表をたくさんしたいです。

### 松茂中学校 3年 bo

私は中学生集会に参加して、他校のことや他校の人のことを知れてとても良かったです。私は、実行委員長として今回の集会に関わりましたが、1年生から集会に参加して、初めてたくさんの人の前であいさつや実行委員の集まりの進行をしました。もちろん緊張はしましたが、会の雰囲気や参加しているみんなが熱心に動いてくれたからこそ、スムーズに進められたのだと思います。初めての実行委員長だったこともあり、至らない点はたくさんあったのですが、他の人との協力もあり、無事に会を終えることができました。意見交換も、たくさんの意見があり、時間があっという間に過ぎました。中学生で参加が最後だったので、名残惜しい気持ちでいっぱいですが、参加して良かったと心から思えました。

### 松茂中学校 2年 bv

私は、この「人権を語り合う中学生交流集会+23」に参加して、友達が前に立ってみんなに向けて発表する姿を見ました。その友達は真剣に、みんなと目を合わせて話していました。私は、その姿に感動しました。そして、それと同時に、友達がみんなに伝えたいからこそ、みんなと目を合わせ、真剣に話しているように思えました。みんなと目を合わせるの、緊張するだろうけど、それをもやってみせる友達は、家で何度も練習したんだろう思えるような姿でした。だからこそ、私も含め、友達の話を知っている人は、そのことから目を背けず、向き合っ問題解決に取り組んでいくべきだと思います。問題解決は、私一人の力じゃできません。だから、私以外の人たちももっと深く人権について考え、学び、人権の輪を広げて、みんなで解決の第一歩を踏み出せたらいいなと思います。

### 松茂中学校 2年 bx

全体会午前の部では、はなさんとチェリーさ

んの語りについて聞くことができました。ここでは、結婚差別について学びました。部落差別によって結婚ができなかったということを知りました。そのことに対して、「何で、どうして」と問かける姿は格好良かったです。部落差別をするのは、自分的にすごく良くないことで時代遅れだと思います。生まれた場所によって差別をするのは、その地域や人々を侮辱していると思います。このような差別はなくなって欲しいんです。

全体会午後の部Ⅰ、Ⅱでは、たくさんの人が意見発表をしてくださいました。みんなの意見を聞いて、自分も発表しました。みんなの意見の中には、「性的マイノリティ」について語っている人が何人もいました。「男だから、女だから」という、変わっている固定概念が早くなくなって欲しいです。

### 松茂中学校 2年 bz

今回も、いろいろな人の意見を聞くことができて、行ってよかったなと思いました。特に、LGBTQについての語り合いが、印象に残っています。私はよく、BL(boys love)のマンガやドラマを見ます。このことを友達に言った時、「変やな」と言われたことがありました。それを受けて、やっぱりまだそういう考え方が浸透していないんだなと思いました。でも、今回、LGBTQについて、たくさんの人が理解していて、いい雰囲気だなと思いました。実際に、女性だけど女性のことが好きな人もいました。その人も、みんなが理解してくれるから自信をもって語る事ができたと思います。これから、あの温かい雰囲気を大切にしていきたいです。

また、チェリーさんやはなさんの話も、非常に興味深く、結婚差別について知ることができました。なんとなく、結婚差別について知っていたけれど、実際に差別された人の話を聞くことで、どれほど辛いかわかりました。

今回の本大会を経て、差別をすべてなくすことはできないかもしれないけれど、身近な差別

から少しずつなくしていきたいなと思いました。

### 松茂中学校2年 bt

僕は、「人権を語り合う中学生交流集会+23」に参加して学んだことがあります。それは、発表ができなくても、相手の目を見てしっかりと話を聞くことが大切だということです。僕は小学校の時、あまり社交的ではなく、内向的な性格で、あまり人前でしゃべることがすきではなく、自分の意見を強く主張することもありませんでした。でも、中学校に入って少し友達も増え、意見発表をする機会が広がり、すごく自分の意見を言い、そして自分の主張をもてるようになりました。でも、まだ少し意見を言うのが難しかったり、人前に出ることが苦になる心があります。でも、それを乗り越えた時に、発表することができると思うし、自分にとってかけがえのないものになると思います。その第一歩がこの交流集会だと、僕は思いました。多様な意見、多様な価値観をもつ生徒が集まり、その意見を共有し、もっと考えを深めていくことで、自分にとっても、他の人にとっても、得るものがあると思います。

今回の交流集会では、性別のことについて語っていました。僕も、あまり性別について深く考えたことがありませんでした。でも、今回の集会で「性的マイノリティ」に関しての考えが深まり、そして、より一層性別についての偏見を、自分の中でなくしていけたらいいと思います。そして、交流集会で学んだことをもち帰り、自分にとってプラスになるよう、今後の生活で改めていきたいです。

### 松茂中学校2年 ch

今回の大会に参加して、まず初めに印象に残ったのは、午前の部での講演会と、その討議についてです。特に、「結婚差別」という言葉がよく出てきていて、私も、みんなが討議の時に話していたことと同じで、「結婚」とか、そも

そもあまり考えてはいませんでした。でも、もし自分が婚約相手の方の家族に、私が部落出身であるか、知らないうちに調べられているとしたら、とても怖いし、自分の生まれた場所だけで結婚が許されないという状況は、あってはならないのだと感じました。

そして、午後の部や皆さんのたくさんの意見や感想を通して、自分の今まで思っていたことが、少し間違えていたのだということもわかって、特に「心の性別」については、まだわからないこともあるので、これからも、人権学習やこの中学生交流集会を通して、日々理解を深められるようにしたいです。本当にありがとうございました！

### 松茂中学校2年 ce

今日は、とても考えさせられた1日になりました。様々な人が、様々な意見を述べ、大人も子どもも関係なく手が挙がって、いい話し合いだったと感じました。私は、この集会に出会ったのは、中学1年生の5月頃のことでした。森口先生に誘われ、興味本位で行ってみると、その会にいる仲間が互いを信頼しあい、本当の自分をさらけ出すことができる場所で、私は、そんな場所を初めて見ました。今までの学校の人権学習とは何か違うなと感じ、その要因は一人一人が課題に一生懸命取り組み、話し合うところからだと思いました。そんな人権学習が学校でもできるように貢献していきたいです。今日は、貴重な体験をありがとうございました。

### 松茂中学校2年 by

僕はこの集会に参加したのは2年目です。今年も司会をさせて頂きました。本大会では発表はできなかったけど、考えたことをここに綴ろうと思います。

午前の討議では、結婚だったり、結婚差別についてなどを語り合っていました。あまり結婚については考えたことはなかったです。もし、結婚する時に相手の人が部落として、僕の身内

の人に「結婚するのはやめとき」と仮に言われても、その人に流されず、自分の意見をもちたいと思います。

また午後の部では、Ⅱの最後の語りで、平野先生の「前に1歩進んでみてください」は、この集会のキャッチフレーズでもあるので、心に残りました。今回も、司会やみんなの意見を聞いて、さらに成長することができました。来年もまた参加したいと思います。

### 松茂中学校2年 bp

今回は、リハーサルには参加できませんでしたが、本番に発表させてもらいました。去年は司会でしたけど、発言の機会はほとんどなかったもので、とても新鮮な気持ちでした。やはり、いざ舞台に立つと、そこから見える景色はすごいもので、驚きます。何度立っても慣れなくて、聞く人の数もそうだし、聞く人の真剣さで学校とは違う緊張を感じます。正直、去年のこの集会是素晴らしかったです。でも、今年は去年以上でした。埼玉や神奈川、遠くから参加してくれる人もいて、いろいろな考えをもつ人と関わることができ、いろいろな問題を知ることができる。そして、それを討論して、正しい方向へもって行く。ただ知るだけではなく、「良くしていくことができる」。それが、この集会の素晴らしさだと思っています。もし、来年も機会があればぜひ参加したいです。そして、また意見の交流をして、新しい価値観や考え方、捉え方を学びたいです。来年もまた、声がかかることを楽しみに待っています。

### 松茂中学校2年 bu

僕は、今回の「人権を語り合う中学生交流集会」は、今までで一番本心を発表していた人が多かったと思います。僕が、この会で特に印象強かったのは、チェリーさんが話してくれた「結婚」についての話です。なぜなら、僕たちは結婚ができるのにも関わらず、チェリーさんは、部落出身というだけで、付き合っていた彼氏に

も「部落出身」ということを彼氏さんの母や父に言ってもらえなかったり、会わせてもらえなかったりしたからです。僕も、以前から人権学習で「部落差別」の話を森口先生が話してくれているのを聞いて、どうしたらこの部落差別がなくなるのかを考えてきました。「今の僕たちは、みんななぜ部落差別をするんだろう」と。学校の中では部落差別というものがあまりないので、疑問に思うことばかりかもしれません。ですが、このように、部落差別だけではなく、障がいのある人への差別、ジェンダー差別など、最近になって差別されてきたものがあるのが現実です。今の僕たちに、差別は遠いものであっても、大人になるにつれて差別はだんだんと近づいてくるものです。僕は、大人になっても、今の気持ちを変えることなく、大人になった時に、差別がなくなっていることを願います。

### 松茂中学校2年 cb

本番の時は、ものすごく緊張しました。みんな、頑張っって手を挙げている人もいたし、何回も挙げている人もいました。自分も頭の中で整理し、手を挙げようと思いました。たくさん的人数で、「次こそは」を繰り返し、結局手を挙げられませんでした。今まで参加した時も、ずっと手を挙げずに聞いていました。学校で頑張ると言ったのに、何もできず、とても悔しかったです。

### 松茂中学校2年 cg

私は、今年初めて参加して、とても楽しくて本大会の1日が本当にあつという間でした。しかし、帰りのタクシーで、「〇〇中のあの子と話してみたかったな」とか、「あの時、手を挙げて発表すれば良かったな」とか、いろいろ後悔してしまっって、積極性のないこんな自分にイライラしました。だから、勇気がなくて発表できなかった内容のうち、1つをここに書きたいと思います。それは、bpさんの「忘れられること」人権意見発表に対してのaaさんの発言

についてです。私も曾祖母が認知症で、施設に入っています。その施設に面会に行っている時、私は aa さんのお姉さんと全く同じことを言ってしまうていたのです。「どうせ、私たちのこと覚えていないのに行かんでええやん」と。その時の私は、この言葉が差別するようなものだとは1ミリも思っておりませんでした。だから、差別はこんな自然に気づかないうちにできてしまうのだと実感しました。そして、これはとても怖いことだと思ったし、自分をもっと人権と真剣に向き合わなければいけないと感じました。今回はたくさん悔いが残ってしまったので、来年も必ず参加して、中学3年生として何回も発言して会を盛り上げていきたいと思います。主催してくださった先生方、私をさそってくださった森口先生、ありがとうございます。

#### **松茂中学校 2年 ca**

私は、今回の参加が本大会で初めての参加でした。中学校や学年が違って、みんなが発表している人の目を見て、一生懸命聞いている様子が伝わってきました。私も1回だけでしたが、皆さんと意見を交換することができました。学校とは違った雰囲気の中で発表するのは、いつもより緊張しましたが、作文を聞いて自分の思ったことを発表できて、とても嬉しかったです。午前中は発表できませんでした。共感した意見とか、新しい発見とかもあったので、来年は、午前も午後も発表できたらいいなと思いました。発表できなかった分、この紙に書こうと思います。

私はチェリーさんやはなさんのように、自分の思っていることを素直に伝えられる人になりたいです。片親でも、部落出身でも、私の気持ちを分かってくれる人は少なくないはず。私がもし部落出身なら、すぐには言えないかもしれませぬ。もし言ったところで、「相手に理解してもらえなかったらどうしよう」と考えてしまうと思います。ですが、言わなければいけない日は必ず来ます。だから、本音をしっかりと

と伝えられるチェリーさんやはなさんを尊敬します。

#### **松茂中学校 2年 br**

僕は、今回の交流会で実行委員長を務めました。同学年の人も立候補してくれるのかなと思いましたが、2年生は僕1人だけでした。心細かったし、先輩とのやり取りは(特に初対面の人とかだと)少し緊張しました。しかし、本大会でこの緊張をはるかに超える緊張がやってきました。午後の部の時、心臓が少しずつドキドキしてきて、体が少しずつ熱くなる感じがしました。久しぶりに「言いたい」という欲求が出てきたのです。考えるよりも先に手を挙げ、マイクをもらいました。「これだよ、これ!!」と言わんばかりに言いたいことを言い、自分の中で燃えている熱意に心を浸しました。言ってみればあつという間でした。ものすごく緊張しましたが、「なつかしいなあ」という感情も湧いてきました。この熱意は、どれだけの時が過ぎても忘れないと思います。この交流会に出会えて本当に良かったと思いました。

#### **松茂中学校 1年 cj**

僕にとって、人権とは話し合っていくと世界を大きく変えるものだと思います。それは、人権で悩んでいる人が多いから。「人権がないとひどい扱いを受ける」「人権がないから、住まわせてくれない」違います。生まれた瞬間から、人権というのは誰もがもっています。僕は、この人権集会に参加して、人権に対する考えがガラッと変わりました。参加する前の僕は、「人権なんて、差別しなきゃいいんだろう」と思っていました。ですが、この会に参加し、人権の大切さに気づかされました。人権というのは、人々が平和に暮らし、安心できる世界をつくるためにあるのだと。

#### **土庄中学校 2年 cu**

交流集会を振り返って、発表し合える雰囲気

がとても大切だと改めて実感することができた。発表するときも、自分の言葉で伝えることが大切だと思った。どの人権課題にも共通点があって、差別は間違った理解から生まれているのだと思う。解決するためには、違いを認め合ったり、交流集会を通して意見を言い合い考えを深めたりすることが必要だと思った。もし自分が人権のことについて相談されたときに、他人事として考えるのではなく我が事として考えていきたい。例えば、障がい者だから一切関わらないようにするのではなく、コミュニケーションをとって積極的に関わるようにしていきたい。世の中にはいろんな人がいるので、自分とは違うことを認め合い、個性として尊重して関わっていきたい。今日学んだことをこれで終わりにせず、自分なりに考えをまとめて、一人でも多くの人に伝えていきたい。そうすることで、周りの人たちの人権問題に対する意識が高まって、正しく理解し、関心をもつ人が増えると思った。

### 小豆島中央高校3年 fg

私も中学生のときは、人権学習で部落差別のこと、結婚差別のこと、LGBTQ のこと、いろいろなことを学んでいたのですが、高校生になってからはあまり人権学習ができていません。改めて、その話を聞いてよかったと思います。

初めはパネリストのはなちゃんとチェリーさんのお話を聞きました。結婚のメリット、その逆にストレスや悩みもあるなどの話が出てきました。ある男子生徒は、料理するのが好きで結婚したくないと話していました。私も「推し」がいるので結婚しなくても幸せになれると思っていました。でも、みんな話を聞いているうちに現実的ではないかもしれないと教えられました。

もう一つ教えられたことがあります。それは、「価値観」というフレーズです。中学生のとき、女らしさが足りないと感じるようになりました。どうしてそう思ったのかというと、周りの

友達ファッション雑誌を見て、日常のしゃべり方や食事などを考えている中、私はその話は興味がなくて、「私には女らしさなんてないんだ」と悩んでいました。でも、あるとき先生にその話をしたら、慌てて大人の女性らしくならなくてもいいよと教えられました。それ以降、周りの価値観に合わせなくてもよいのだと気にならなくなりました。

松茂中学校の2年生の意見発表で、認知症の話が出されました。私の母方の祖母も認知症になっていて、私のことを忘れて名前が分からなくなっていました。おばあちゃんの家に入ると「誰？」と言われたときはすごくさみしかったし、心が苦しくなりました。おばあちゃんに忘れられることはつらいけど、母の方がもっとつらいから、何回でもニコニコしながら自分の名前を言いたいと思いました。一番は、認知症でもおばあちゃんが元気で過ごしてほしいと願っています。発表を聞いているうちに泣きそうになりました。

藍住中学校の人の発表で、「訴えることの大切さ」も印象に残っています。私も性的マイノリティについて学習したときに、小学生のとき、ある男の子から「俺は男の子が好きなんだ」と相談されました。私はその相談を受けたときは、何を言ったら良いのか分からなくなって走って逃げてしまいました。家に帰ってすごく反省しました。男友達に言ったら笑われたりキモいと言われてのけ者にされるだろうから、私に怖い思いをしながらも相談してくれたんだなど後になって思いました。その日のうちにその男の子と会い、逃げ出したことを謝りました。もう一度話を聞いて私はこう言いました。「幸せになってね。もし何か言われたり無視されたりしたら私に言って」と。国内では、LGBTQ の人たちへの差別が残っていますが、私は何も思いません。苦しい思いをしている人がいるんだと思うと、苦しく、悲しくなります。こういう差別やいじめはなくさなければいけないと思います。

## 土庄町職員 er

昨年度に引き続きの参加で、中学生とその子らを支える先生方の心温まる集会でした。fhさんとfgさんの参加はとてもありがたく、深い学びであったと思う。中学生が自分を本音でさらけ出し語っている姿を見て、大人たちも多くの学びを得ることができた。この場だからこそ、自分をさらけ出すことができたということもあろうが、正直に揺れる心、葛藤を語っていた。我々教職員も自己を解放し、子どもや保護者に自己表出し、人として信頼されるよう努めなければならない。改めて考えさせられた集会であった。自分の弱みや悩み、不安を語る勇気をもちたいものである。それが人の信頼を得て、語りへと進展していくのである。人として数え切れない尊い命をつないで今ある命をどう生きるか、これからも自らに問い続けていきたい。

## 土庄中学校教員 ek

参加しているいろいろな県の中学生たちの意識の高さに、土庄以外にも熱心に人権課題に向き合うなかまたちがいることを感じられてよかったです。まず、中学生3人の発表が、どれも自分のしんどさに向き合い、それを素直に表現したものでした。中学生たちが何度も会って計画して話をして活動していく中で、この人たちになら安心して話せるという信頼感のあるなかまになってうらやましく思いました。いろいろな発言の中には「ん!？」と思うものもいくつかあったけど、帰りのバスの中でel先生とevくんと一つ一つ話し、考えられたのもよかったです。特に、最後の「部落差別っていう言葉を使うからよくない」という意見は、そのままにしているのか気になりました。大人があんまり話に入るのはよくないと思いつつ、今年をつどい、来年のつどいでは自分のことをもっと話して、みんなが少しずつ出せるようにしていきたいです。自分もいろいろな会に参加する度に感覚がグレードアップしている気がするのです、こんな会に子どもたちをどんどん誘いたい、

いろいろな子たちに聞いてほしいと思いました。来年も行きます！

## 土庄町職員 ep

久々の参加だったので、まず鳴門市の人権センターのエントランスの雰囲気懐かしさを感じた。会場へ上がると、中学生たちの出迎えを受け、手作り感がひしひしと伝わってきた。参加校も以前より増え、徳島県でなく香川県、鳥取県、神奈川県と人権の輪が明らかに広がっているのを感じてうれしくなった。各学校紹介も特色を生かした学校色が出ていて微笑ましくなる。

午前中が、2人のパネリストによる講演があり、祖父母による恋愛差別、結婚差別に遭うが信頼できる友人に相談することでそれを乗り越え、今は幸せな結婚生活をしているという話だった。2人とも中学時代にこの会の実行委員になったり、学習会に参加したりしてずーっと人権学習を続けていたので、差別に気付いたり差別を受けてもメンタル面が育っていたので、たくましく生きてこられたと自信に満ちた様子で話された。やはり、小中学校での人権学習は、障がい乗り越えるたくましさやなかまとの信頼関係を築く基礎になっているのだということを感じた。土庄町でも、小学校での共通実践、中学校での人権・部落問題学習、こころのつどいなどをこれまで続けてきたが、これからは今まで以上に深めていく必要性を痛感した。中学生たちの活発な意見交換もユニークで、自分の意見をはっきり言える強さやたくましさも、きっと人権学習で培われたものなのだろう。最後に、吉成先生や森口先生の思いに触れ、こんなにも感動に満ちた場面や人に出会わせてくれる部落問題学習に携わってきてとてもよかったと思った。また、この思いを若い世代につなげていくのも私の役目なのだとも再認識した。

## 土庄小学校教員 eo

中学生交流集会に参加して、自分の思いを自分の言葉で語っている中学生たちに驚きました。その姿を見ていて、思いを語ることで人と人がつながっていくのを感じました。多くの人の前で自分をさらけ出すことは勇気がいると思うけど、ほんの少し勇気をもってふみ出すことで、自分の周りの世界は変わっていくと思いました。私は自分の気持ちを、心を許している友人の前で語ることは好きですが、多くの人の前で話すことは苦手です。しかし、今日の中学生の姿を見て、自分も勇気をもってみんなの前で自分を表現していこうと思いました。

今日は、部落差別を受けた方の話や、障がい者差別、性的マイノリティの話など、いろいろな人権課題が出ました。さまざまな人権課題の解決に向けて私ができることは、まずは知ることだと思います。知らないことで無意識のうちに差別をしてしまったことが自分にもあります。学んだことで、後になってあれは差別する心だったんだと気付くことができました。自分の価値観がすべてではないと分かっているけど、自分と違う人を変だなと思ってしまうこともあります。価値観の違いを受け入れることはできなくても、「そういう考えもあるんだなあ」と1つの考えとして受け止めることはできます。そうすることで、多様な見方ができるようになっていくと思っています。そうなれるように、これからも学んでいきたいです。

## 土庄中学校教員 el

パネリストの2人の話は、部落差別を身近に感じる事ができた。何度も出会ってしまう壁だと思った。そこの地域に生まれただけで差別される、付き合っても結婚は認められない。その付き合いをしている人に理解されても、その親には理解されないことがあるのが部落差別の現実だった。差別される当事者が説得しなければいけない現実。だからこそ、周りが差別のことを理解して、差別をなくしていく必要がある。

LGBTQ, 障がい者, 高齢者などのさまざまな人権問題に共通していることは何か。吉成先生の問い。自分の思う共通点は、「その当事者が現にいること。差別はする側の問題。被害を受けた人が頑張るのではない。周りの人が頑張る。一步踏み出すためにも「わがこと」として差別問題に向き合うこと」だと考える。自分の中にも小さな差別の心はある。教育者として自分が差別していると気付くこともある。情けないと思うが、人は気付かず無意識の中で差別をしている。見える問題、見えない問題に関係なく、差別があるという現実と向き合い、当事者がいるということを忘れてはいけないと思った。

## 土庄小学校教員 en

私が交流集会に参加したのは今回で2回目になります。昨年も思ったのですが、生徒たちの熱量がすごいこと。この日のために、自分たちで企画し準備してきたからこそ、思いが詰まっているのだと感じました。講演会パネリストのOG 2人(はなちゃん、チェリーさん)の話にとっても引き込まれました。お二人とも、結婚の際に部落差別を受けたそうです。二人とも、直接交際相手の両親と話がしたく、説得できる自信があったようですが、それさえ叶わず別れることになった話です。今の中学生にとって、結婚といわれても現実的でない生徒の方が多いかなと思いました。けれど、大人の私にははとつても現実的でリアルな話で、どんどん引き込まれました。やっぱりまだまだ結婚差別あるんだな。しかも、チェリーさんについては、相手が香川の人でした。そして、何より自分のことよりも我が子に対してどうしていくかということを実剣に考えていました。フロアに、昨年のパネリストの方がいましたが、みんな同じで子どものことを一番に考え、心配していました。親の気持ちはみんな同じです。そんな、一言では表せないいろんな思いを会場で感じる事ができました。この難しい内容に、生徒たちはちゃんと答えていました。本当にすごいです。フロア

一の大人たちも混じり、自分の考えを堂々と発言していました。みんなから熱さを感じました。自分が恥ずかしくなります。この体験を自分の人権・同和教育に生かしていきます。児童たちに少しでも還元させていきたいです。貴重な経験をありがとうございました。

### 土庄町職員 eq

午前の講演会では OG の方 2 名の講演があり、2 人とも被差別部落出身の方で、自分と同じ境遇の方でした。2 人とも結婚差別に悩まされ苦勞されてきたということがすごく伝わってきました。それ以上に、同じ境遇年代であそこまで自分の話を堂々と伝えられることに、尊敬以上に正直劣等感に近いような感情をもちました。最後に 2 人のパネリストの方が、昔から続く差別の歴史を受けてきた事実をなかったことにはできないので、自分たちの子どもたちにも伝えていくという発言が印象的でした。いろいろ話を聞いて、まだまだ勉強不足だと強く実感したので、負けずに自分も発信していきたいです。

全体会では、中学生が結婚差別について、自分自身しっかりとした価値観をもっていることに衝撃を受けました。午後の部の語り合いでは、認知症の家族の話と難聴の話で、これもまた身近な問題だけど遠くにあるような難しい問題だと思いました。日本では、将来 80 代の 2 人に 1 人が認知症になると予想されていて、自分の家族や自分自身にも関わってくる話題です。実際、関心があるかと言われると難しく、大人でも悩むような話題なのに、言葉に詰まりながらも自分なりに考えながら言葉を探り探り、それでも真剣に一生懸命自分の言葉で伝えようとしている中学生を見て、自分も大人も負けていられないと、こちらも真剣になりました。

最後に、今回中学生交流集会に参加させてもらって一番思ったことは、中学生は自分が思っているより大人で、しっかりと自分の価値観や考え方をもっていることを改めて強く感じまし

た。来年も機会があればぜひ参加したいです。

### 土庄中学校教員 ej

小豆島の先生たちが、この会に参加することで学べることがあると感じています。それは「中学生がここまでできるんだ」という驚きであり、「中学生たちが真剣になって学ぼうとしているのに、自分も真剣になって学ばなければ」という希望であったりします。その学びがあることで、学校での人権学習をきれいごとで終わらしたらダメだという熱意につながっているように思います。「自分は女性だけど女性が好きです」と話していた中学生の意見発表が心に残りました。一番理解してもらいたくないはずの親に言い出せないしんどさ。でも、そのことを語り合うなかまがいたことで視界が広がっていく自分自身の気付き。吉成先生が最後に「いろんな人権課題は結局つながっているんじゃないか？」と問いかけ、一人一人の気付きがああの会の雰囲気の中で共有されて、中学生自身の手でよりよいものが創られていくんだろうなと希望を感じました。

### 小豆島中学校 3 年 cx

自分の中学校だけでは聞けないようないろいろな意見を聞くことができました。初めてこの会に参加してみて、たくさんの人権問題を知り、考えることができました。午前の部では部落差別について今まで学んだこと以上に実体験も交えて知り、考えることができました。自分が身近に部落差別に関わったことはないのに、今まで深く考えることはなかったけれど、今日の話聞いて他人事として考えるのではなく、自分事として考えることが必要だと感じました。

午後の部 I では自分の身近にもある問題で共感できるところがたくさんありました。今までは身近に自分と同じ疑問や考えをもっている人はなかなかいなかったけれど、この会で同じ疑問をもっている人の意見を聞き、自分と少し違った考え方をもっている人もいて、いろいろな

見方や考え方があるということを知りました。

午後の部Ⅱでは性のあり方や考え方について今までにはなかった考え方があり、とても勉強になりました。話のなかで LGBT などと絞ってしまうより、私とあなたで話をする方がよいということが心に残りました。

### 小豆島中学校 2年 cy

様々な話や意見、実際に経験したことなどを思っていたよりはっきりと話していて、「自分もこんな経験したな」とか、「私はこう考えていたな」など価値のある話をたくさん聞くことができとても良かったです。「差別」について真面目に考え、今までよりさらに心に響く意見とふみ込んだ内容の議論ができて、今までは「これ言ったらどう思われるかな」というようなことも、「この場のみんななら聞いてくれる」と安心できました。発言こそしていないけど、話を聞くだけでもかなり考えられました。差別に関する自身の経験や悩んだこと考えたこと、思ったこと、それだけでもたくさんあって、しかも心にそれがとどまっていて、怒りや悲しみなどの感情を巡らせたことが伝わり、「自分が実際言われたら」とか、「自分の中の常識や良かれと思ってしたことでも人を傷つけていないか」など、もっと自分の行動や周囲に対して目を改めて向けられました。差別といっても様々な種類で形を変えて今も存在して、差別を受けた人の具体的な感情は理解できないかもしれないけど、差別をされた人はみんな共通して傷ついていると思います。

### 小豆島中学校 3年 cw

全体学習と違って、発表する人が深く話して、いろんなことを考えさせられました。今までの人権学習は自分の考えをもつことなく参加していて、でも今回の人権学習は自然と自分の考えをもつことができました。いろんな人の発表を聞くことで深く考えるのがすごいと思いました。日常から人権について考えていて、自分と

違うところがたくさんあると感じました。自分の一つ一つの行動・言動は差別になっていないか考えていけたらなと思いました。

今でも結婚するときに育った場所を気にする人がいるということに驚きました。その話はもう昔の話だと思っていました。右耳が聞こえにくい人と少し言葉の発音がうまくできない障がいなど、いろんな病気や障がいの理解が深まればいいなと思いました。

### 小豆島中学校教員 ev

初めて中学生集会に参加させていただきましたが、とても良い会だったと思います。午前の部では、2人のパネリストの方の実体験をもとに今でも差別は残っているという話をしてくださり、令和になった今でもやはり差別は続いているんだと改めて感じました。また、話の中であった学校での人権学習をもっと深めて、大人になったときに困らないようにしてほしいという言葉に、今までの自分の指導は表面だけの薄っぺらいものだったなと反省しました。お二人の話を受けて、中学生たちも自分の結婚観等を自分の言葉で話しているいいなと思いました。

午後の部の討論会でも、自分のことや自分の周囲のことを踏まえ、「自分ごと」としてとらえて討論、発表している様子がすごくいいなと思い、「自分が中学生のときにこういう会がもっとあれば…」と何度も思われました。何よりいいなと思ったのは、参加している全員がきちんと発表者の方を向いて真剣に話を聞き、話し終わったときに拍手を必ずするという、あたたかい雰囲気が自然とできているという、その環境が素晴らしいなと思いました。本当にすごく貴重な体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

### 小豆島中学校 3年 cv

パネリストの方のお話を聞いて、すごくこんなことが実在するんだ、と感じました。自分は全然悪くないのに、人生が全く変わってしまっ

て本当に辛いなと思いました。結婚することは個人的にとっても怖いのです。一緒にいる中で不満とかけんかとかが出てきてしまったら嫌だからです。相手と分かり合えたらよいと思うので、そういう人に出会えると良いなと思います。

午後の話では自分の経験の中ではない話が多かったけれど、他の人の意見も聞いて、身近に置いて考えることができました。特に LGBT では最近よく見かけるようになってきて、身近に感じられます。もし友達にそんな人がいたら、素直に受け入れたいと思います。

学校の人権集会では、今日聞いた意見も生かして、島中の代表として考え、伝えたいです。発表はできなかったけれど、自分の中でしっかり考えられたし、すごくみんなが積極的で安心できるあたたかい場だなと思いました。自分から興味をもって、いろいろな方向から人権について考えることが大切だと思いました。正しい知識が広げられるように努力したいです。

#### **小豆島中学校教員 eu**

結婚差別はまだあることにとっても残念な思いが、そして悲しい気持ちが込みあげてきた。また、しっかりと学習をして、この部落差別がいろいろな人を苦しめていることを、正しい知識をみんなで身につけてなくしていかなくてはならないと本当に思った。いろいろな人の話を聞いて、問題について何度も考えるが、今回は就職も結婚のときもつらい思いをしたにも関わらず、自らを語ってくれた方々に感謝したい。親の立場についても語ってくれ、今子どもができて、子どもにどう人権を教えていこうかという観点からも考えることができた。仲間づくりが大切だと生徒に語ってきたが、本当の仲間づくりができていいのか不安である。森口先生が言われるように、まずは自分が語り、さらけ出すことをしないとイケない。みんなが(教員は絶対)本気でやってるんだという雰囲気をつくらなければならないと思いながらやっているが、足並みをそろえるのは難しい。心配り、心配り

をモットーにやっているが、やはり「心」、「自分ごと」を中心にして進めていこうと再確認できた。吉成先生の宿題に答えるためにも、来年人数を増やして参加したい。

#### **小豆島中学校教員 et**

久々に参加させていただき、中学生の率直な意見に勇気と新たな問題提起を受け取りました。差別をなくすために、正しく知ること。そのために、「言いたいけど言えない」のが一番辛いのではないのでしょうか。一番分かってほしい人に分かってもらえない。では、なぜ言えないのか。それはそこに差別があるから。出身地、セクシュアリティ、障がい、病気。女性においては年齢も。お互いのことを知り、深く関わっていこうとするときに、当たり前のように話題に上がることを避けて話さなければならないのはおかしい。そしてそのことを後ろめたく思ってしまう自分がいたとしたら、自分のことも愛せなくなってしまう。そんな悲しい思いをさせないために、自分に何ができるのかを考えさせられました。まずは、今行っている「仲間づくり」を自信をもって続けていこうと思います。大人になって困ったときにもつながっていけるように。そして吉成先生のように、困ったときに思い出して連絡をもらえるよう、発信し続けていきたいと思いました。来年もぜひ参加させてください。

#### **小豆島中学校教員 ex**

今回の交流会を通して、まず驚いたことは中学生一人一人が自分の考えをしっかりともち、その思いを他の人にしっかりと伝えることができる生徒が想像していたよりも多かったことです。それはこの場にいる生徒、大人が本気で真剣に人権学習に向き合っていて取り組んでおり、安心して自分の思いを語るができる環境が整っていたからこそ、このような素晴らしい交流会が実施することができるのではないかと感じました。今回の集会で学んだことを小豆島の生

徒にも伝えていくためにも、私自身今後も人権について学んでいく姿勢をもち、生徒としっかり向き合っていきたいと思いました。また、生徒が自分の思いを安心して語ることができる環境をつくるために、何ができるかしっかり考え、生徒たちに働きかけていきたいと思います。人権学習をするときはいつもドキドキしながら行うのですが、全ての生徒が自分事として捉えることができるような人権学習を行うことができるように、しっかり自分自身が学び伝えていけたらなと思います。

### 小豆島中学校教員 ey

交流集会に参加し、講演会や意見発表、中学生中心の討議を聞き、改めて人権について考えました。特に性的マイノリティについて深く考えました。最近では LGBTQ を支援する活動が増え、LGBTQ とはどのようなものなのか、多くの人が認知してきたと思います。ただ SNS で流れてくる活動や、当事者以外のコメントを見たとき少し違和感を覚えるものがありました。この交流会で、They ではなく you で接する。LGBTQ とひとくくりにするのではなく、その人個人で考えれば良いという意見を聞いてすごくスッキリしました。この言葉を胸に、これから生徒は周りの人たちと関わっていきたいです。交流集会は、生徒たちが自分の意見をしっかりもって発言しており、ステキだと感じました。また、聞いている方も発言者をよく見て真剣に聞いており、あたたかい場になっていたと思います。これを小豆島にもち帰って、まずは自分のクラスからそんな雰囲気をつくっていきたいです。交流集会に参加できて本当に良かったです。来年はもっと多くの生徒と参加します。

### 小豆島中学校職員 ez

今回、初めて参加させていただきました。当時実行委員として参加していた中学生がパネリストになって後輩たちに同和問題の厳しさやつらさを語ることで、中学生にとっては自分の問

題としてとらえ、自分に何ができるか考えるきっかけになったのではないかと思います。家族に認知症や障がいのある方がいることや、自分が性的少数者であることなど、本来は信頼できる人にしか話せない内容であっても語ることができるのは、この会場では自分が知らない人であっても語ったことは否定されずに受け止めてくれるという思いがあるからだと感じました。一人の発言につないで発言したり、自分の思いや考えを県内外の中学生と伝えあう姿は本当に素晴らしく、その時間を共有させていただきありがとうございました。

### 小豆島中学校教員 ew

私は今回小豆島中として参加しましたが、徳島育ちです。自分の母校も有地区で人権問題や部落差別について学んだつもりでした。しかし、それでも自分の中で「もう今はそんな古い考えの人はいないでしょ？」とも思っていました。自分の周りに生まれの地域がどうと言っている者はいない。だからどこでもそうなんだろうと。その考えは間違っていたと社会人になってから気づかされましたが、今回の講演を聞いてさらに衝撃を受けました。

私の地元徳島でも、まだまだ根強く残っている。はなちゃんやチェリーさんの話の中で、今なお結婚の条件に出身地が組み込まれる現実を知りました。部落解放と言い始めてから何世代も経っているのに、自分の子どもに自分の出身地について伝えることをこれだけためらわなくてはならない世の中のままだったのかと衝撃でした。はなちゃんの「見えないものを見えないままにしないでほしい。支えとなる仲間を見つけてほしい」、チェリーさんの「発信してほしい。自分の意見が途中で変わってもよいから、今の考えを素直に発信することを恐れなくてほしい。そしていつか共に人権を語る人の意見を受信する側になってほしい」という思いに触れ、今回の会の大切さと、差別に向き合う心構えを学びました。

また、質疑応答から男女の役割についての話が上がりました。今ジェンダーレス化が進み、教育の現場でも「男のくせに」「もっと女らしく」のような発言はよくないとされていますが、「女の子みたいと言われて嬉しいと感じるのは今の社会ではよくないことなのか?」「女性らしく生きていきたいと思うことが今の社会の価値観とそぐわなくて悩む」という中学生からの意見に、はっとしました。チェリーさんが言っていた「自分の目標や価値観を大切にできていたらいいよ」という言葉に、私も励まされました。多様性のある世の中として、どちらの考えもいいねと言われる世の中になってほしいです。

自分がまずできるのは、身の周りの人と話すことだと思いました。自分が子どものころ感じていたように、周りが「そんなこと誰も気にせんよ、大丈夫」と次の世代に胸を張って伝えられるように、正しい知識を身につけ、語ろうと思いました。

### 小豆島中学校教員 es

3年ぶりに参加させていただきました。毎回、血がたぎるように体が熱くなります。そして、部落差別を核にした人権・同和教育を推進するためのエネルギーをいただいています。

本年度のテーマ「1つの言葉で変わる 1つの行動で変わる ～前に進むその一歩が私たちの未来だ!～」のとおり、パネラーをはじめ、意見発表をしてくれた中学生の言葉一つ一つが胸に突き刺さるような感じました。フロアから勇気を出して発言する生徒の姿とその思いや、参加者からのメッセージ等を聞きながら、自身がどうあるべきか、どうなりたいのか、そしてどうしたいのかを見つめ直す時間をいただきました。

現在、本校は、若年教員の増加、地元教員の減少に伴う広域交流人事の増加(広域交流は3年で元の市町に戻る)、保護者や地域の脆弱化等の課題が山積しており、非常に厳しい状況で

す。その中で、差別に負けそうになっている生徒の姿も見られ、教職員が必死になって支えようとしています。しかし、教職員の思いや願い、日々の生徒との関わりや取組等、なかなかベクトルが揃わず、「生徒の仲間づくり」と同様に、「教職員の仲間づくり」「教職員と保護者・地域との仲間づくり」の土台を再構築し始めたところです。

本校の前身である内海中学校で「全体学習」を始めたころを思い出しながら、当時生徒だった保護者と語り合いながら、毎日、生徒と向き合っています。「なぜ同和問題をはじめとする様々な人権問題を学ぶのか」「学ぶことでどんな人を育てたいのか」、そんな思いを教職員で共有し、「本気」になって生徒と向き合い、保護者と関われる教職員集団をつくっていきたくと考えています。そして、生徒が「語り合いを通して仲間とつながっていくあたたかさ」を味わいながら、生涯にわたってつながってられる「仲間」を得るとともに、ふるさと自分に「誇り」をもち、「未来への希望」を思い描ける学校にしたいと考えています。

法律で人権を守る必要があるような社会ではなく、自分のルーツや障がい、ジェンダーや病気等について気を遣わずに話ができる社会、つまり、誰もが「しんどいことをしんどいと言える」「しんどい人に気づくことができる」「しんどい人に寄り添うことができる」ような未来を思い描きながら、自身を見つめ、高めていきたいと考えています。

最後になりますが、本研修会の企画・運営をはじめ、生徒のご指導された先生方、運営委員の生徒の皆さん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

仕事の都合上、鳴門市人権地域フォーラムには参加できませんが、今後ともよろしく願いいたします。

### 大山中学校 1年 db

チェリーさんとはなちゃんの話聞いて、恋

愛差別がすごく怖かったです。恋愛差別とは違うけど、私も差別をされたことがあります。差別と言ってもちょっとしたいじめみたいなものだったけど、最初はいじめとは気づきませんでした。だけど、それがどんどんエスカレートして行って、すごく怖くなりました。だから、あらためて差別の怖さを知りました。

### 大山中学校 1年 da

僕はこの会で、いろいろな人の意見が聞けたので良かったです。性的マイノリティーの話では、人の個性を認め合うことが大切だと思いました。はなちゃんやチェリーさんの話では、部落で差別されていて、結婚したくてもできないなど、何も罪を犯していないのに差別されている人が居ると言うことが分かりました。そういうことを経験された方の話はとても有益なので、学校に帰って友達に話してあげたり、先生に話してあげたりしたいです。今回はこのような会を開いていただきありがとうございました。

### 大山中学校 3年 cz

去年は新型コロナウイルス感染症によって、徳島に行つての人権学習ができなかったけれど、今年は3年生ラストで徳島に行つてしっかり人権について学ぶことができ良かったです。交流集会では、たくさんの中学生だったり高校生だったりが集まっています、自分はとても発表するまではできなかったけど、意見発表のときに話を聞いて、自分自身がこれからはなくてはならないことだったり、自分ができることだったりについて考えることができ良かったです。意見発表では、性的マイノリティだったり、障がいだったり、身の回りで起きていることについてしっかり学ぶことができました。これからは人それぞれの個性を尊重していけるようにしたいです。

### 中山中学校 2年 dg

みんながいっぱい話してくれてうれしかった。代表の人の発表ではあまり気にしていなかったことでも誰かを傷つけてしまうと分かって、自分もまだまだ考えがあまかったなと思った。意見交換のときにはすごく空気が重くて怖かったけど、発表を聞いた自分の思いを隠さず堂々と言っていてとてもすごいと思ったし、カッコいいなと思った。今回の研修で、今まではなかった考え方や、人を思いやることの大切さを知ることができて、とてもよかった。来年はもっと成長した自分で行きたい。

### 中山中学校 2年 df

徳島の人たちは中学生と思えないぐらいに発表のレベルが高くて話す人もたくさんいるところに驚いたし、本当にすごいと思った。意見発表のときに私は、特に LGBTQ の人たちをその人たちで括るのではなく、その人で一人一人として見てあげるのがいいというのがあって、すごく印象に残った。徳島の交流会は人権などいろんなことが話し合えるこの交流会はすごくいいと思ったし、これからも続けてほしいと思った。1年生のときから参加してたら、もっと良かったなと思った。中山中でも、この徳島みたいなすごくいい交流会みたいなのが校内討論でできたらいいと思った。雰囲気づくりがいいな。

### 中山中学校 2年 dd

県外の人ともコミュニケーションがとれた。たくさんの方の意見を聞いて、自分の考えも深めたりすることができた。意見発表をする人の話を聞いて、自分なりの考えを出すことができた。いろんな人が発表していたので、自分も見習っていきたいです。吉成さんたちの話を聞いて、とても感動しました。あらためて学習会は大切なんだなと思いました。いろんなことが学べたので、徳島の交流会に行つて良かったです。